

# 災 害 救 護 速 報

平成 23 年 2 月 2 日 (水)

(9 : 00 現在)

日本赤十字社 事業局

救護・福祉部 救護課

(Tel. 03-3437-7084)

## 霧島連山・新燃岳<sup>しんもえだけ</sup>火山活動にかかる日本赤十字社の対応<sup>(2)</sup>

宮崎県高原町等における平成 23 年 1 月 26 日(水)からの新燃岳火山活動に対する日本赤十字社の対応は以下のとおりです。

- \* 本速報の内容・数値等は、随時更新されます。
- \* 下線部は、前回速報からの追加・変更箇所であること。

### 1 被害の概要 (2 月 1 日(火) 19 : 50 総務省消防庁発表より抜粋。)

平成 23 年 1 月 19 日に今年最初の噴火をした霧島連山・新燃岳は 22 日と 26 日にも噴火を続け、宮崎県内の広範囲に降灰をもたらしている。

#### (1) 被害の状況 (2 月 1 日 19 : 50 時現在)

県名	人的被害 (人)				住家被害 (棟)		
	死者	行方不明	重傷者	軽傷者	全壊	半壊	一部損壊
宮 崎 県	—	—	1	2	被害なし		
<u>鹿児島県</u>	—	—	—	<u>1</u>	<u>被害なし</u>		

#### ・避難勧告

発令市町村：高<sup>たか</sup>原<sup>はる</sup>町

発令時刻：1 月 30 日(日) 23 時 50 分

対 象 地 区：南<sup>みなみ</sup>狭<sup>さ</sup>野<sup>の</sup>地区 [ 171 世帯 368 人 ]

北<sup>きた</sup>狭<sup>さ</sup>野<sup>の</sup>地区 [ 148 世帯 332 人 ]

花<sup>はな</sup>堂<sup>どう</sup>地区 [ 188 世帯 434 人 ]

中<sup>なか</sup>平<sup>へい</sup>地区(一部) [ 6 世帯 24 人 ]

合計 513 世帯 1,158 人

#### ・避難場所

ほほえみ館、中央公民館、町民体育館、教育集会場

(2) 災害救助法の適用

2月1日 18:00 現在、適用なし。

## 2 日本赤十字社の対応

(1) 災害対策本部の設置

【宮崎県支部】

1月27日(木) 9:00 宮崎県支部災害警戒本部を設置した。

28日(金) 16:00 宮崎県支部災害警戒本部から宮崎県支部災害対策本部へ移行した。

【鹿児島県支部】

1月27日(木) 17:00 鹿児島県支部災害警戒本部を設置した。

(2) 医療救護班等の派遣

1月27日(木) 11:30 現地の状況把握と今後の災害救護活動を協議するため、支部職員3名と災害時救援奉仕団2名の合計5名を高原町と都城市へ派遣した。

29日(土) 17:00 宮崎県支部職員2名(看護師1名、主事1名)を避難住民の健康相談のため、高原町内避難所へ派遣した。

30日(日) 9:30 宮崎県支部2名、避難所より帰着した。

(3) 救援物資の配分状況

【宮崎県支部】

宮崎県内において次の物資を配分するため輸送した。(高原町、小林市、都城市(山田町))

・毛布 2,960枚

・ブルーシート 200枚

・タオル、手袋、マスク等の生活必需品

また、第6ブロック(九州・沖縄)支部から宮崎県支部へ毛布を輸送した。

※救援物資輸送数

・福岡県支部 1,000枚

・熊本県支部 300枚

・大分県支部 200枚

・鹿児島県支部 500枚

計 2,000枚

【鹿児島県支部】

鹿児島県内において、次の物資を輸送した。(霧島市)

・毛布 300枚

(4) 赤十字奉仕団、防災ボランティアの活動

- ・赤十字防災ボランティア

高原町へ生活必需品(タオル、手袋等)を輸送した。

- ・宮崎県アマチュア無線赤十字奉仕団

高原町へ救援物資(毛布、ブルーシート)を輸送した。

- ・高原町赤十字奉仕団

1月31日(月)、昼食としておにぎり 800 個、夕食としておにぎり 1,400 個の炊き出しを実施した。



高原町赤十字奉仕団による炊き出しの様子